星空観察

1　活動の目的、効果

（1）体験活動上の効果

◎阿蘇の自然に親しむ

（2）ESD の課題解決に必要な 7 つの能力・態度

③　多面的、総合的に考える力

人・もの・こと・社会・自然などのつながり・かかわり・ひろがり（システム）を理解し、それらを多面的・総合的に考える力

2 活動の詳細

概要 （セールスポイント）	星空観察をとおして、自然界の移り変わりに触れたり、その雄大さや神秘さを感じたりすることができます。					
諸条件	実施形態	**自主活動**		提出書類	不要	
	必要経費	不要		所要時間	1～1.5 時間程度	
	活動場所	敷地内草原		対象・人数	学校団体、自然体験活動団体、企業や子ども会など	
	事前下見	なし	実施時期　通年	天候	晴天時（雨天時は室内のみ）	
準備するもの	青少年交流の家で貸し出し可能な物			団体で準備する物		
	双眼鏡　星座早見盤			懐中電灯 寒くない服装		
役割分担	交流の家職員が行うこと			団体の自主活動で引率者が行うこと		
	1 事前説明※16：30 までに事務室で実施 交流の家職員から団体引率者（担当者）へ ・活動場所・時間の確認 ・安全面での配慮事項などの確認 4　借用物の受け取り			1 事前説明を受ける 交流の家職員から安全面での配慮事項などを聞く。 2 活動の指導を行う。 3 人数の確認・振り返り 4 借用物品の返却		

3 活動のふりかえりのポイント

視 点 ：「星の動きや季節ごとに変わる星座について考えながら観察することができたか。」

発問例：「なぜ、星空がこんなきれいに見えるのだろうか。」 「住んでいる地域と比べてどうだろうか。」

4 SDGsで目指す姿

	11.6 **2030 年までに、大気の質及び一般並びにその他の廃棄物の管理に特別な注意を払うことによるものを含め、都市の一人当たりの環境上の悪影響を軽減する。** きれいな星空を守るためには、どんなことが必要かを考え、自分ができることを行動に移そうとする姿